

2010年度兵庫県支部総会

2010年6月13日(日) 午後3時～5時30分 支部事務所

6月13日支部事務所で2010年度総会が開催されました(出席者20名、委任状89名)。今回の目玉は支部名称の変更と規約の全面改正です。名称は、設立以来30年間使い続けてきた「日本野鳥の会兵庫県支部」から「日本野鳥の会ひょうご」へ変更(変更理由は、コウノトリ171号の9ページをご覧ください)しようとするものです。また、それに伴い名称変更を含め、規約の改正(規約改正案の詳細は、175号6ページ～12ページをご覧ください。了承後の正式な規約は、掲載分から『(仮称)』、『(案)』を除いたものとなります。)を諮り、満場一致で了承されました。会報では総会の抜粋を掲載します。

詳しい議事録および会計書類は支部をご覧くださいことが出来ます。

●2010年度 新幹事体制 (◎はグループのリーダー)

代表 : 奥野俊博
 副代表 : 岩崎健二、木下文生、鈴木博
 事務局 : ◎堺昭生 二河正、丸谷聡子、嶋田裕久、長江卓哉
 普及グループ : ◎山本幸二 溝渕正昭、油谷邦夫、鈴木博、長江卓哉
 研究グループ : ◎安岡久志 奥野俊博、岩崎健二
 編集グループ : ◎長尾高明 二河正
 幹事 : 井上清仁、吉田忠史
 地域担当 : 橋本清澄、梅津節雄
 顧問 : 重政慶三
 会計監査 : 伊賀文計、白川吉行

◆各グループ活動報告及び活動計画

【普及グループ】

- 報告 : ①探鳥会78回計画・73回実施・参加者2,870名(過去最高) ②展示会等③室内例会・研修会、④普及グループミーティング6回、⑤普及グループ通信発信
*支部会員は減っているが、探鳥会への一般参加者は増えている。100名を超える探鳥会が6回もあった
- 計画 : ①探鳥会通常約70回、ツアー探鳥会3回、探鳥地の開拓、②サブリーダー養成検討、③会員増への取り組みを強化、④コウノトリへの投稿依頼強化、⑤事務所体制強化の支援、⑥30周年行事への取り組み強化、⑦販売活動、⑧カルチャーセンターへの講師派遣、⑨学校、行政への講師派遣、⑩グループミーティング、⑪グループ通信
*会員増を増やすことを含め、サブリーダーを育てていきたい。

【研究グループ】

- 報告 : ①ガンカモ科鳥類・ハクチョウ類生息調査 参加者69 調査地165、②氷ノ山坂ノ谷の野鳥生息調査と調査員研修、③近畿地区ツバメのねぐらの一斉調査 : 調査地14、カウント数、参加者22・約134,000、④東播磨地域のため池の環境と野鳥生息調査、⑤支部創立30周年記念事業として兵庫県鳥類目録作成の検討
*全国的な調査が多いのだが、支部単独調査として東播磨地域のため池の環境と野鳥生息調査を行った。
- 計画 : ①ガンカモ科鳥類・ハクチョウ類生息調査、②野鳥の生息環境モニタリング調査 ③氷ノ山坂ノ谷の野鳥生息調査と調査員研修、④近畿地区ツバメのねぐら一斉調

査、⑤創立30周年記念事業として兵庫県鳥類目録作成、⑥兵庫県の「いなみ野ため池ミュージアム事業」および「グリーンサポーター事業」実施に伴う野鳥観察会等への協力、⑦グループ例会
*30周年記念に向け、兵庫県鳥類目録を作成する

【保護グループ】

- 報告：①密対連総会出席、②大台ヶ原近畿ブロック参加、③環境NGO, NPO HYOGO対話シンポジウム参加、生物多様性国際対話シンポジウム参加④コサギ、コアジサシ営巣地パトロール、⑤カフウコロニー被害対策、⑥密対連、メジロ識別講習会参加、⑦コハクチョウ越冬地パトロール、⑧メジロ違法飼育への対応
- 計画：①保護保全活動、②関係行政機関等との協働、③自然環境、野鳥保護関係のシンポジウム、フォーラム等への参加、④他の自然保護団体との交流

【編集グループ】

- 報告：①支部報「コウノトリ」1) No. 170からNo. 175まで6号を隔月刊で発行、②ホームページ 2009年度のアクセス回数は13,112回 支部ホーム上に見た鳥の名前を同定する電子掲示板を作成、③ホームページのリニューアルを着手、④ホームページのWEB解析サービスに加入
*アメリカ、ベトナム、フィリピンからもアクセスがあった
- 計画：①支部報「コウノトリ」 No. 176からNo. 181まで6号を隔月刊で発行、②支部設立30周年記念誌発行、③ホームページをリニューアル、④「コウノトリ」の記事のホームページ化、PDF化など支部報とのリンクを強める

【事務局】

- 報告
 - ①幹事会の開催：毎月第二土曜日午後6時30分より、支部事務所にて
2009年4月11日より2010年3月13日まで12回開催
 - ②兵庫県支部総会：2009年6月7日 支部事務所にて開催
 - ③2009年度会計監査：2010年5月23日支部事務所にて会計監査担当のもと、各グループと支部会計の監査を実施し、問題なく終了
 - ④会員管理：担当幹事が本部と連携をとり、十分に個人情報の取り扱いに注意し実施、事務所に小型のシュレッダーを備え付け、編集と共々個人情報取り扱いに注意した
 - ⑤事務所管理：週末の事務所当番の配置、備品・図書等の保守管理
 - ⑥幹事の参加：事務局幹事として新メンバーを加え、事務局活動が活性化をはかった
 - ⑦支部設立30周年に向けての準備作業
- 計画
 - ①幹事会開催：毎月1回 計12回の通常幹事会を実施
 - ②日本野鳥の会ひょうご総会：名称改正後の2011年日本野鳥の会ひょうご総会を6月初旬に開催予定
 - ③11月7日創立記念式典の開催：11月30日が創立30周年にあたる。
 - ④近畿ブロック会議の当番：年1回会議の開催。11月前後に予定
 - ⑤会員管理：本部と連絡を密にとり個人情報の取り扱いに十分注意していく
 - ⑥新たな人材発掘
 - ⑦事務所管理

2009年度収支計算書

2009年4月1日から2010年3月31日まで

財団法人日本野鳥の会 兵庫県支部

(単位:円)

収入の部				支出の部			
科目	予算額	実績額	差額	科目	予算額	実績額	差額
会費収入	3,000,000	2,925,000	△ 75,000	事務所経費	2,160,000	2,186,234	(26234) 0
探鳥会参加費収入	300,000	361,950	61,950	事務局経費	250,000	256,569	(6569) 0
対外活動収入 (講師派遣収入)	350,000	495,111	145,111	普及活動費	150,000	116,883	△ 33,117
受託事業収入	0	0		探鳥会経費	200,000	153,700	△ 46,300
販売利益	100,000	157,430	57,430	対外活動経費	250,000	267,000	(17000) 0
寄付金	0	500	500	研究活動費	150,000	92,258	△ 57,742
雑収入	40,000	40,909	909	保護活動費	100,000	48,920	△ 51,080
当期収入合計	<u>3,790,000</u>	<u>3,980,900</u>	<u>190,900</u>	編集活動費	50,000	36,932	△ 13,068
前期繰越収支差額	5,494,163	5,494,163		支部報発行費	1,380,000	1,422,574	(42574) 0
合計	9,284,163	9,475,063	190,900	予備費	200,000	(92377)	△ 107,623
				小計	<u>4,890,000</u>	<u>4,581,070</u>	<u>△ 308,930</u>
				活動積立金繰入	9,000	29,000	20,000
				保護基金繰入	1,029,000	9,000	△ 1,020,000
				当期支出合計	<u>5,928,000</u>	<u>4,619,070</u>	<u>△ 1,308,930</u>
				(当期収支差額)	△ 2,138,000	△ 638,170	1,499,830
				次期繰越収支差額	3,356,163	4,855,993	1,499,830
				合計	9,284,163	9,475,063	190,900

注:事務所経費、事務局経費、対外活動経費及び支部報発行費の予算超過分は予備費を取崩して執行した。

2009年度貸借対照表

2010年3月31日現在

財団法人日本野鳥の会 兵庫県支部

(単位:円)

科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
資産の部			負債の部		
1.流動資産			1.流動負債		
現金預金	5,659,675	5,074,659	未払金	165,512	231,500
未収入金	0	12,834	合計	<u>165,512</u>	<u>231,500</u>
前払金	0	0	2.固定負債		
合計	<u>5,659,675</u>	<u>5,087,493</u>	借入金等	0	0
2.固定資産			合計	<u>0</u>	<u>0</u>
保護基金預金	1,793,000	1,802,000	負債合計	<u>165,512</u>	<u>231,500</u>
活動積立金預金	2,664,000	2,693,000	正味財産の部		
敷金	800,000	800,000	前期繰越正味財産		10,751,163
合計	<u>5,257,000</u>	<u>5,295,000</u>	当期正味財産減少額		△ 600,170
資産合計	10,916,675	10,382,493	正味財産合計	<u>10,751,163</u>	<u>10,150,993</u>
			負債・正味財産合計	10,916,675	10,382,493

正味財産増減計算書

2009年4月1日から2010年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額
[増加の部]	
保護基金繰入	9,000
活動積立金繰入	29,000
計	38,000
[減少の部]	
当期収支差額	-638,170
計	-638,170
当期正味財産減少額	-600,170
前期繰越正味財産額	10,751,163
当期正味財産合計額	10,150,993

計算書類に対する注記

(1) 資金の範囲について

資金の範囲には現金預金(ただし定額郵便貯金を除く)、未収入金、前払金及び未払金を含めている。

(2) 販売利益について

当期の売上金額と「仕入金額+送料等販売経費」との差額を計上している。なお今年度売上金額は393,830円である。

(3) 正味財産及び次期繰越金の内容は以下のとおりである。

(正味財産)

科 目	前期末	当期末
保護基金	1,793,000	1,802,000
活動積立金	2,664,000	2,693,000
敷金	800,000	800,000
次期繰越収支差額		
現金預金	5,659,675	5,074,659
未収入金	0	12,834
前払金	0	0
小計	5,659,675	5,087,493
未払金	165,512	231,500
小計	165,512	231,500
合計	5,494,163	4,855,993
前期正味財産合計	10,751,163	-
当期正味財産合計	-	10,150,993

上記内容について特に問題なく、適切な出納業務がされていることを確認しました。

2010年5月23日

支部会計監査

伊賀 文計

印

支部会計監査

油谷 邦夫

印

2010年度収支予算案

2010年4月1日から2011年3月31日まで

財団法人日本野鳥の会 兵庫県支部

収入の部			支出の部		
科目名	10年度予算	摘要	科目名	10年度予算	摘要
会費収入	3,000,000	3,000円×1,000人	事務所経費	2,210,000	事務所家賃・光熱費・電話代等
探鳥会参加費収入	300,000		事務局経費	250,000	保険料等
対外活動収入	350,000	講師派遣収入	普及活動費	150,000	
受託事業収入	0	今年度予定なし	探鳥会経費	200,000	
販売利益	100,000	カレンダー販売等	対外活動経費	250,000	
雑収入	20,000	預金利息・寄付金	研究活動費	150,000	
当期収入合計	3,770,000		保護活動費	100,000	
前年度繰越金	4,855,993		編集活動費	50,000	
収入合計	8,625,993		会報発行経費	1,462,375	年6回発行 印刷費・郵送料
			30周年記念事業	1,635,000	
			小計	6,457,375	
			予備費	200,000	
			当期支出合計	6,657,375	
			(当期収支差額)	▽2,887,375	
			次年度繰越金	1,968,618	
			支出合計	8,625,993	

カウントリ



177

11